

エコアクション21 環境経営レポート

(活動期間：令和5年7月～令和6年6月)
— 第10版 —

令和2年7月豪雨災害から4年・・・

わたしたち社員一同、4年たった今も早期の復旧・復興に向けて、全力を尽くしています。



渡大槻線 (3118) 2年発生道路災害復旧 (2過年) 工事 他合併
令和6年3月 竣工
災害復旧に伴う道路改良 写真は熊本県球磨郡球磨村地区

[発行日]

令和6年6月28日



MITSUWA
CONSTRUCTION COMPANY
三和建設株式会社

[本社] 熊本県人吉市西間上町810番地1
TEL 0966-24-6151
FAX 0966-35-7055

目 次

1.会社概要	1
2.環境経営方針	2
3.実施体制組織図	
3-1.組織図	3
3-2.各部署の役割と責任	3
4.環境経営目標	4
5.環境経営目標の実績	5～8
6.環境経営計画及び取組みとその評価・次年度の取組み	9
7.環境に配慮した施工の主な活動内容	10～11
8.主な取組み内容	12～13
9.環境関連法規への遵守状況及び違反・訴訟等の有無	14
10.代表者による全体の評価と見直し	15

1.会社概要

1) 名称及び代表者名

三和建設株式会社

代表取締役社長 佐藤 圭

2) 所在地

本社 〒868-0071 熊本県人吉市西間上町810番地1

3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 代表取締役副社長 尾曲 幸輔

担当者 営業企画部 部長 笠松 西雄

総務部経理課 平山 小春

営業企画部 税所 憂衣

連絡先 TEL:0966-24-6151 FAX:0966-35-7055

4) 事業内容

特定建設業 許可番号 熊本県知事許可(特-3)第299号
許可種類 土木工事業
とび・土工工事業
鋼構造物工事業 ほ装工事業
しゅんせつ工事業
水道施設工事業 解体工事業

5) 事業規模

資本金 3,500 万円
従業員数 60 名 (令和06年6月30日現在)
事業延べ床面積 384 m²

6) 事業年度

期首 7月1日 ~ 期末 6月30日

7) 事業実績

※記載されている年度は期首年度となります。

実績内容	単位	令和03年 自 R03.07 至 R04.06	令和04年 自 R04.07 至 R05.06	令和05年 自 R05.07 至 R06.06
工事等の件数	件	45	42	34
完成工事高	万円	317,688	223,304	288,678

8) 認証登録範囲

三和建設の全組織、対象事業所と対象事業活動を(土木工事業、
とび・土工・コンクリート工事業、舗装工事業、解体工事業) 認証登録範囲とする。

2.環境経営方針

【基本理念】

三和建設株式会社は、三方良しの理念に基づき、地域の環境保全ひいてはその地道な取り組みが地球環境保全につながることを認識し、日々の活動において、自主的・積極的に環境保全活動に取り組めます。

【基本方針】

1) 環境負荷の低減を図るために次のことに取り組めます。

- ① 電力・自動車及び重機の燃料使用量の削減を図り、二酸化炭素排出量削減に取り組む。
- ② 事業活動により排出される産業廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）に取り組む。
- ③ 総排水量削減（節水）に取り組む。
- ④ 環境に配慮した商品・資材のグリーン購入に取り組む。
- ⑤ 地域清掃等を行い、環境保全活動へ積極的に取り組む。

2) 地球環境との調和を大切にし、環境に配慮した施工を積極的に取り組めます。

3) 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

4) PDCAサイクルを繰り返し、環境保全活動及び環境経営システムが継続的に改善することを全組織で取り組めます。

5) 環境方針は、全社員に周知徹底すると共に、社外へ公開します。

制定日 平成27年12月1日

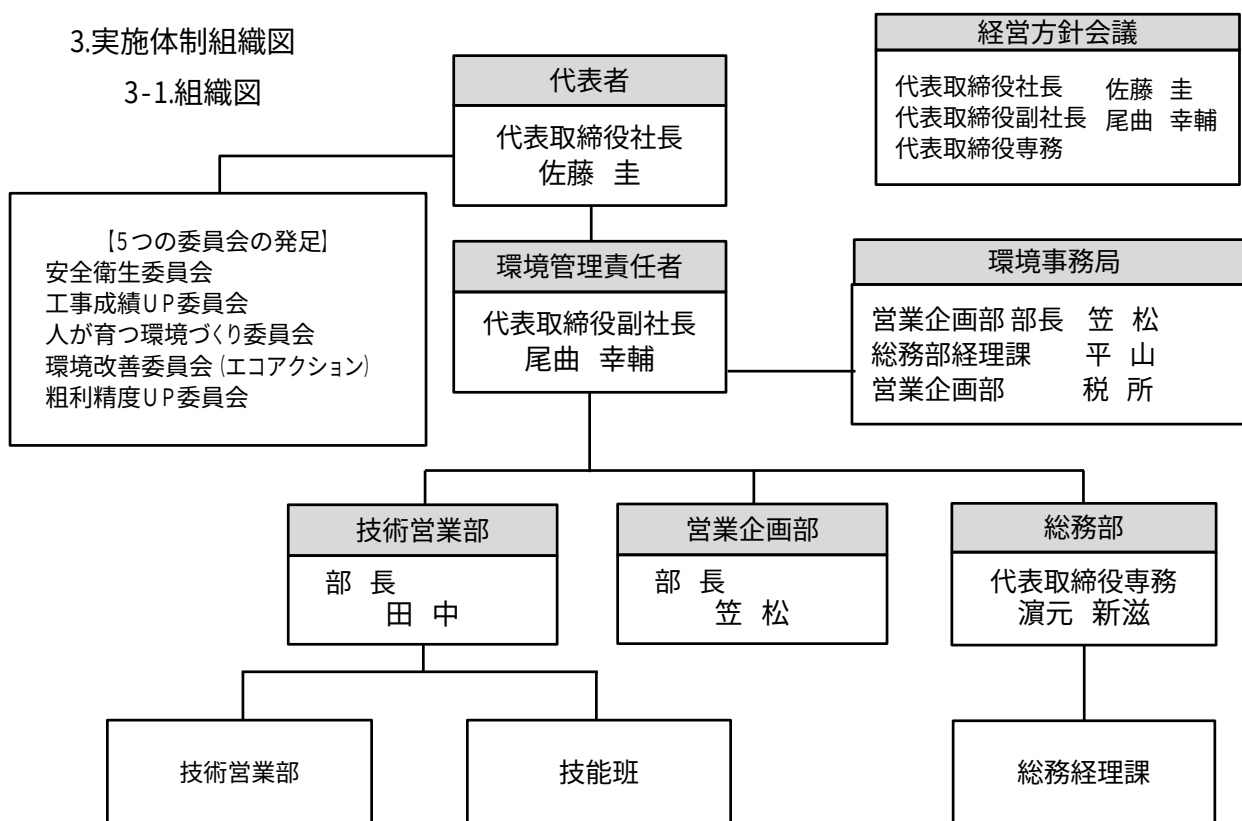
改訂日 令和2年9月10日

三和建設株式会社

代表取締役社長 佐藤 圭

3.実施体制組織図

3-1.組織図



3-2.各部署の役割と責任

代表者 (社長)	・環境管理責任者を指名し、環境方針を定め、表明する。 ・環境経営システムの評価と見直しを行い、改善を指示する。 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間を準備する。
経営方針会議	・環境経営システムが継続して適切に実行され、妥当であり効果的であることを確実にするため開催する。
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理をする。 ・環境目標・環境活動計画書を策定する。 ・環境活動レポートの確認をする。 ・環境経営システムの実績を代表者に報告する。 ・環境への取組みの自己チェックを実施する。
環境事務局	・環境経営レポートを含む、各資料・書類を取り纏め、作成する。
技術営業部	・環境目標と環境活動計画を実施し、達成状況の報告をする。 ・マニフェスト伝票を発行し、データの入力をする。 ・環境方針の理解と取組みの重要性を自覚する。
営業企画部	・環境目標と環境活動計画を実施し、達成状況の報告をする。 ・マニフェスト伝票の集計と管理をする。 ・環境負荷の自己チェックを実施する。 ・環境方針の理解と取組みの重要性を自覚する。
総務部	・環境目標と環境活動計画を実施し、達成状況の報告をする。 ・水道光熱使用量の集計・燃料使用量の集計をする。 ・環境方針の理解と取組みの重要性を自覚する。
総務部	・環境目標と環境活動計画を実施し、達成状況の報告をする。 ・水道光熱使用量の集計・燃料使用量の集計をする。 ・環境方針の理解と取組みの重要性を自覚する。
委員会活動 (全社員参加型)	・安全衛生、工事成績UP、人が育つ環境づくり、環境改善、粗利UPづくりの5つの委員会それぞれが議論を重ね、結論を出し、時には横のつながりも取りながら、PDCAを回し続け、環境経営システムに参加する。

4.環境経営目標

活動期間：令和05年07月～令和06年06月

※記載されている年度は期首年度となります。

項 目			年度 単位	基準年度	目標			
				令和元年度 自 R01.07 至 R02.06	令和04年度 自 R03.07 至 R04.06	令和05年度 自 R04.07 至 R05.06	令和06年度 自 R05.07 至 R06.06	
					〔基準年度の -1%〕	〔基準年度の -2%〕	〔基準年度の -2%〕	
本 社	電気使用量	購入電力	KWh	25,137.00	24,885.63	24,634.26	24,634.26	
			kg-CO2	8,647.12	8,560.65	8,474.18	8,474.18	
	燃料使用量	ガソリン	ℓ	7,707.12	7,630.05	7,552.98	7,552.98	
			kg-CO2	17,880.51	17,701.70	17,522.90	17,522.90	
		灯油	ℓ	0.00	0	0	0	
			kg-CO2	0.00	0.00	0.00	0.00	
	プロパンガス使用量	Kg	0.22	0.22	0.22	0.22		
		kg-CO2	0.65	0.64	0.64	0.64		
	二酸化炭素排出量			kg-CO2	26,528.28	26,262.99	25,997.72	25,997.72
	節水への取組状況			m³	622.00	615.78	609.56	609.56
グリーン購入への取組状況 〔アスフル全体の事務用品購入金額+コピー用紙購入金額 に対するグリーン商品購入金額+コピー用紙購入金額 の割合〕			%	60.90%	〔基準年度の +1%〕 61.90%	〔基準年度の +2%〕 62.90%	〔基準年度の +2%〕 62.90%	
現 場	電気使用量	購入電力	KWh	86,002.00	85,141.98	84,281.96	84,281.96	
			kg-CO2	29,584.70	29,288.85	28,993.01	28,993.01	
	燃料使用量	ガソリン	ℓ	44,490.24	44,045.34	43,600.44	43,600.44	
			kg-CO2	103,217.36	102,185.19	101,153.01	101,153.01	
		軽油	ℓ	110,262.53	109,159.90	108,057.28	108,057.28	
			kg-CO2	284,477.33	281,632.56	278,787.78	278,787.78	
		灯油	ℓ	1,483.77	1468.93	1454.09	1454.09	
			kg-CO2	3,694.59	3657.64	3620.70	3620.70	
	二酸化炭素排出量			kg-CO2	420,973.98	416,764.24	412,554.50	412,554.50
	環境に配慮した施工			-	-	技術的、経済的に可能な環境配慮型施工		
産業廃棄物のリサイクル推進			-	-	再資源化 97.5%	再資源化 97.5%	再資源化 97.5%	
全 体	二酸化炭素排出量 総合計			kg-CO2	447,502.26	443,027.23	438,552.22	438,552.22
	地域貢献活動（7～6月予定） （会計年度単位の活動回数）			回	5	5	5	5

※ 環境活動期間 7月1日～6月30日／年度となります。

※ 基準年度 電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力 令和元年度 0.344 を使用しております。

※ 基準年度を令和元年度に変更

※ 前年度実績が0の場合、過去2年分の平均値を目標値とする

5.環境経営目標の実績

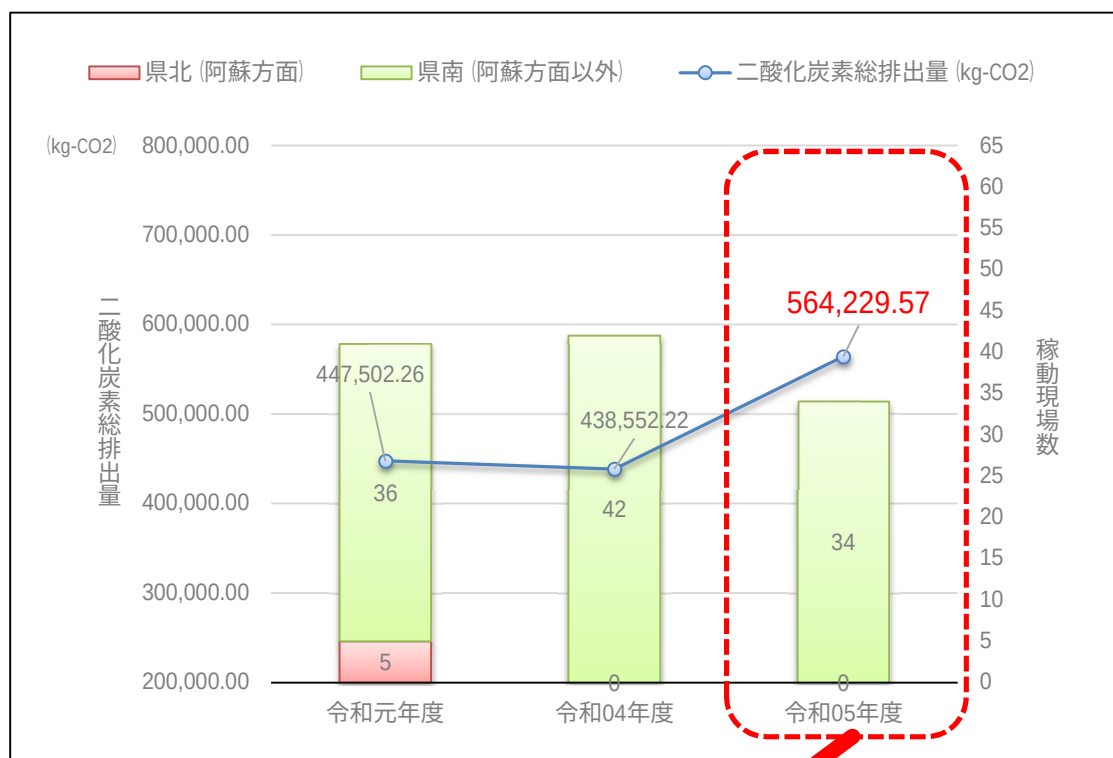
活動期間：令和05年07月～令和06年06月

※記載されている年度は期首年度となります。

項 目			年度 単位	実績基準	目標	実績	使用量 目標達成率 (%)
				令和元年度 自 R01.07 至 R02.06	令和05年度 自 R04.07 至 R05.06 〔実績基準の -2%〕	令和05年度 自 R04.07 至 R05.06	
本 社	電気使用量	購入電力	KWh	25,137.00	24,634.26	21,310.00	115.6%
			kg-CO2	8,647.12	8,474.18	7,330.64	
	燃料使用量	ガソリン	ℓ	7,707.12	7,552.98	6,626.53	114.0%
			kg-CO2	17,880.51	17,522.90	15,373.55	
		灯油	ℓ	0.00	0.00	0.00	100%以上
			kg-CO2	0.00	0.00	0.00	
	プロパンガス使用量		Kg	0.22	0.22	0.00	
			kg-CO2	0.65	0.64	0.00	
	二酸化炭素排出量		kg-CO2	26,528.28	25,997.72	22,704.19	114.5%
	節水への取組状況		m³	622.00	609.56	355.00	171.7%
グリーン購入への取組状況 〔アスフル全体の事務用品購入金額+コピー用紙購入金額 に対するグリーン商品購入金額+コピー用紙購入金額 の割合〕		%		〔基準年度の +2%〕		109.9%	
			60.90%	62.90%	69.10%		
現 場	電気使用量	購入電力	KWh	86,002.00	84,281.96	62,403.00	135.1%
			kg-CO2	29,584.70	28,993.01	21,466.62	
	燃料使用量	ガソリン	ℓ	44,490.24	43,600.44	30,765.46	141.7%
			kg-CO2	103,217.36	101,153.01	71,375.87	
		軽油	ℓ	110,262.53	108,057.28	173,442.91	62.3%
			kg-CO2	284,477.33	278,787.78	447,482.71	
		灯油	ℓ	1,483.77	1,454.09	482.00	301.7%
			kg-CO2	3,694.59	3,620.70	1,200.18	
	二酸化炭素排出量		kg-CO2	420,973.98	412,554.50	541,525.38	76.2%
	環境に配慮した施工		-	-	環境に配慮した施工を実施 （「7.環境に配慮した施工の主な活動内容」を参照）		
産業廃棄物のリサイクル推進		-	-	再資源化 97.5%	再資源化 88.4%	90.7%	
全 体	二酸化炭素排出量 総合計		kg-CO2	447,502.26	438,552.22	564,229.57	77.7%
	地域貢献活動（7～6月予定） （会計年度単位の活動回数）		回	5	5	5	100.0%

二酸化炭素排出量 (稼動現場数との関係) ※記載されている年度は期首年度となります。

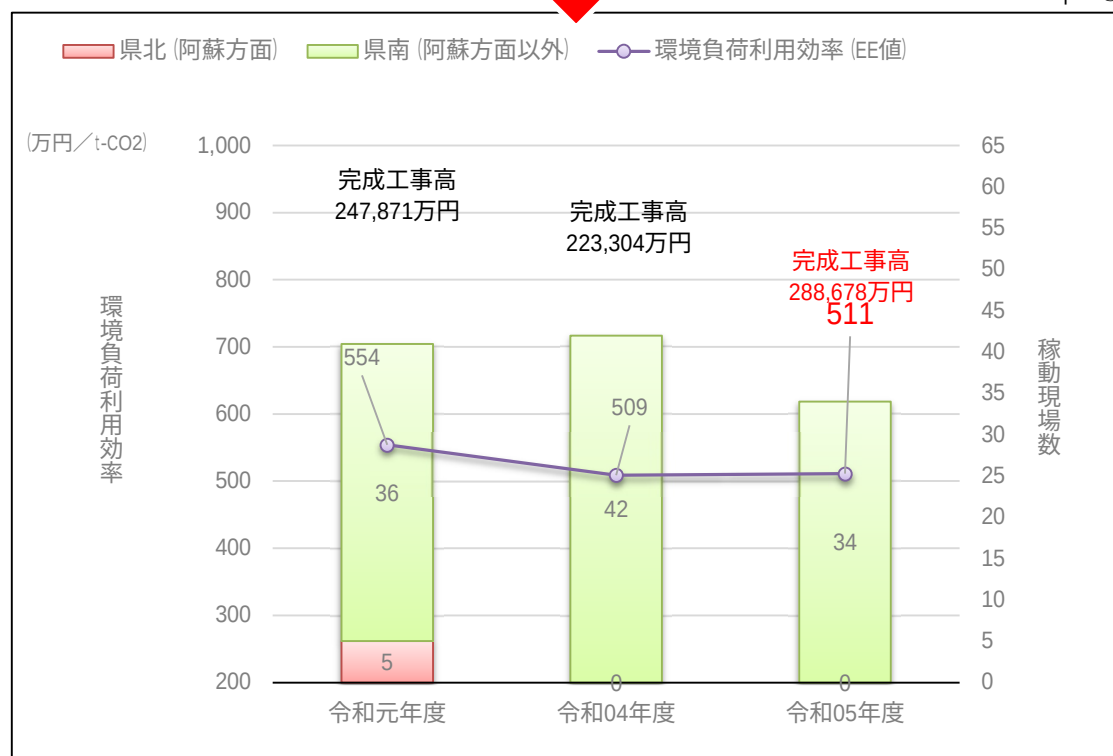
Graph-①



過去、4年間の中で (Graph-①参照)、本年度は二酸化炭素総排出量が前年度に比べ下がっているが、EE値で比較すると、398万円/t-co2という結果に終わった。(Graph-②参照)

※環境負荷利用効率 (EE値)

Graph-②



前年度よりEE値が上回った要因は、完成工事高の増加が考えられる。

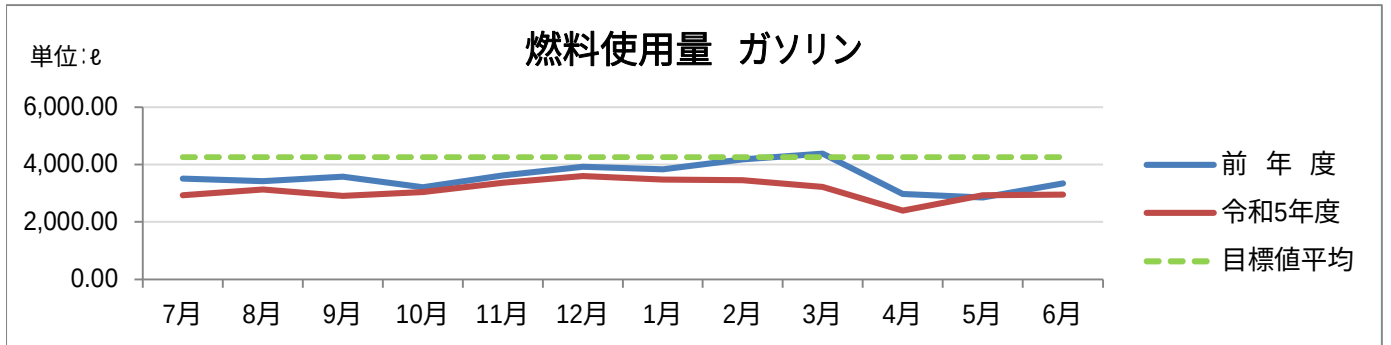
エコアクション21 取組み結果の報告 (全体)

活動期間: 令和05年07月～令和06年06月

[燃料使用量 ガソリン]

単位:ℓ

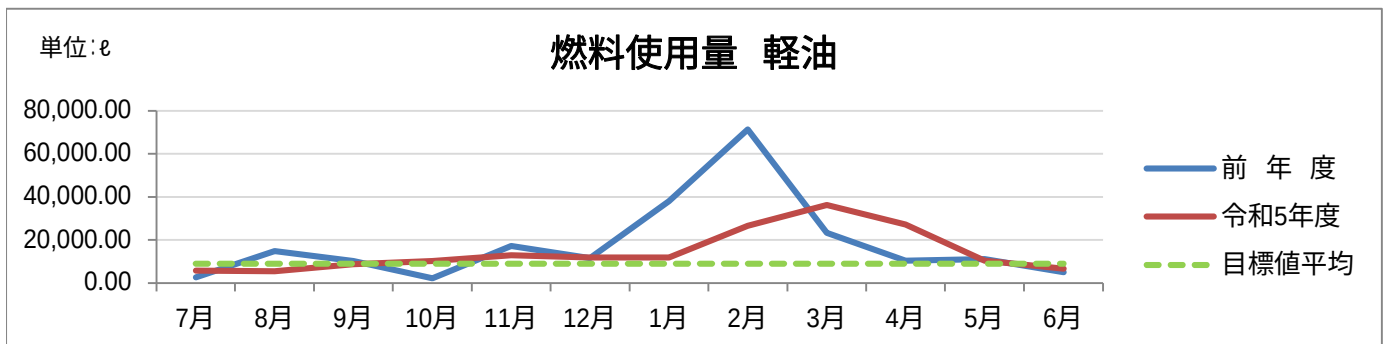
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
前年度	3,512.63	3,414.63	3,574.09	3,206.72	3,625.28	3,920.34	3,837.16	4,183.77	4,382.35	2,967.72	2,854.52	3,337.52
令和5年度	2,933.00	3,128.00	2,906.00	3,038.00	3,369.00	3,600.00	3,477.00	3,451.00	3,219.00	2,398.00	2,926.43	2,946.56
目標値平均	4,262.79	4,262.79	4,262.79	4,262.79	4,262.79	4,262.79	4,262.79	4,262.79	4,262.79	4,262.79	4,262.79	4,262.79



[燃料使用量 軽油]

単位:ℓ

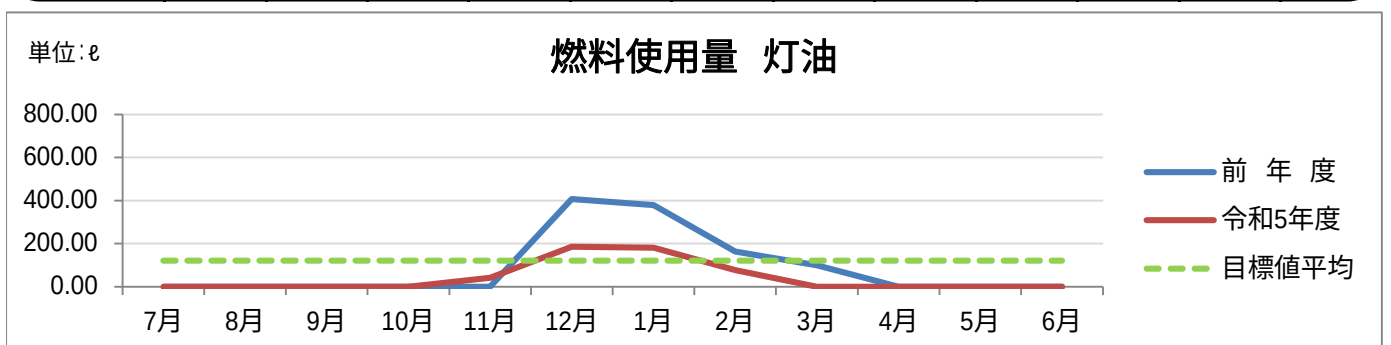
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
前年度	2,599.74	14,745.79	10,113.64	2,209.82	17,155.00	11,521.54	38,012.61	71,419.71	23,238.22	10,363.38	11,067.10	4,898.80
令和5年度	5,751.00	5,475.00	8,627.00	10,200.00	12,831.00	11,751.00	11,836.00	26,502.00	36,287.00	27,186.00	10,371.60	6,625.31
目標値平均	9,004.77	9,004.77	9,004.77	9,004.77	9,004.77	9,004.77	9,004.77	9,004.77	9,004.77	9,004.77	9,004.77	9,004.77



[燃料使用量 灯油]

単位:ℓ

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
前年度	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	407.83	378.00	163.00	98.00	0.00	0.00	0.00
令和5年度	0.00	0.00	0.00	0.00	40.00	186.00	180.00	76.00	0.00	0.00	0.00	0.00
目標値平均	121.17	121.17	121.17	121.17	121.17	121.17	121.17	121.17	121.17	121.17	121.17	121.17



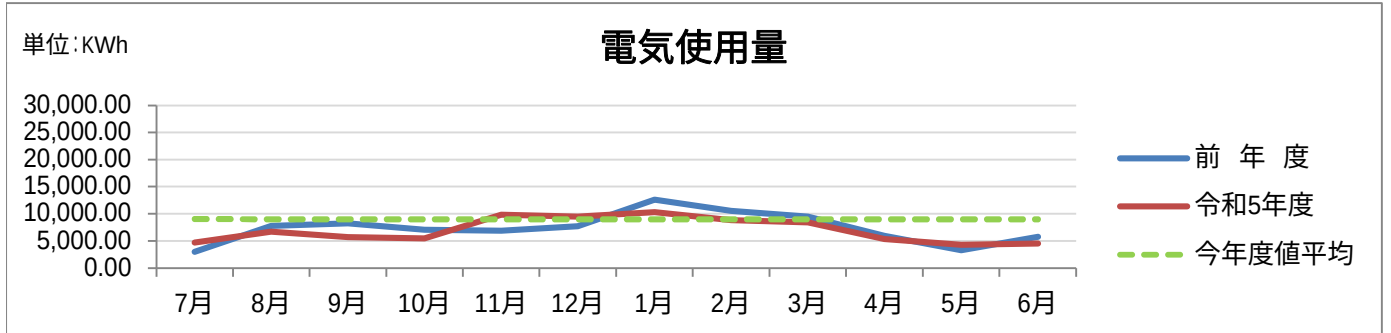
エコアクション21 取組み結果の報告 (全体)

活動期間: 令和05年07月～令和06年06月

【電気使用量】

単位: kWh

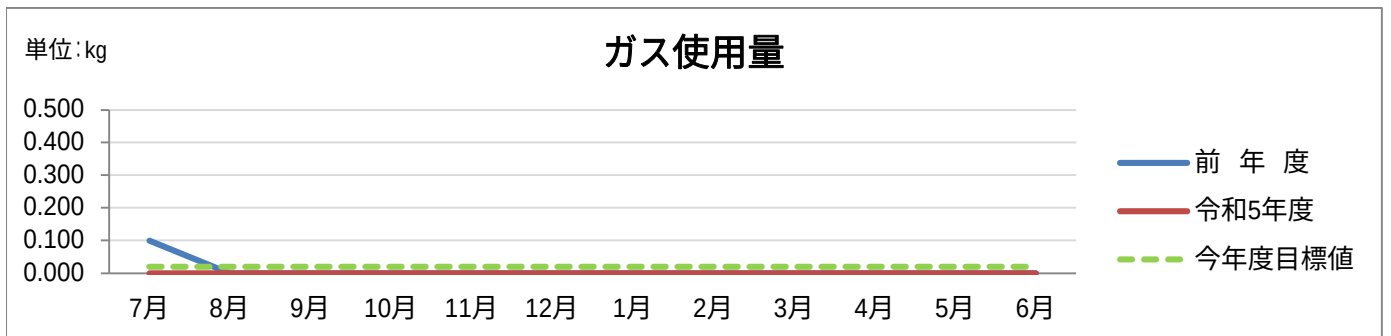
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
前年度	3,042.00	7,776.00	8,231.00	7,057.00	6,861.00	7,708.00	12,654.00	10,557.00	9,489.00	5,922.00	3,291.00	5,754.00
令和5年度	4,726.00	6,723.00	5,691.00	5,490.00	9,818.00	9,458.00	10,355.00	8,824.00	8,411.00	5,373.00	4,309.00	4,535.00
今年度値平均	9,076.35	9,017.83	9,017.83	9,017.83	9,017.83	9,017.83	9,017.83	9,017.83	9,017.83	9,017.83	9,017.83	9,017.83



【ガス使用量】

単位: kg

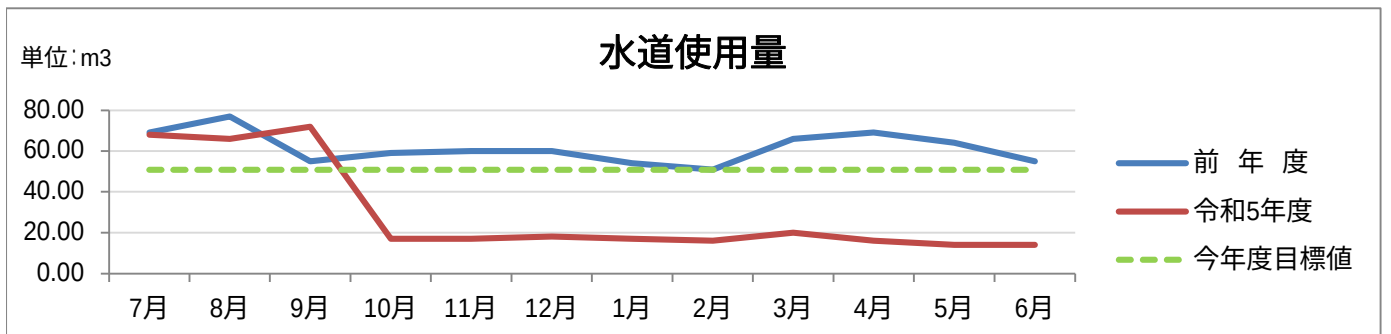
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
前年度	0.100	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
令和5年度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
今年度目標値	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020



【水道使用量】

単位: m3

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
前年度	69.00	77.00	55.00	59.00	60.00	60.00	54.00	51.00	66.00	69.00	64.00	55.00
令和5年度	68.00	66.00	72.00	17.00	17.00	18.00	17.00	16.00	20.00	16.00	14.00	14.00
今年度目標値	50.80	50.80	50.80	50.80	50.80	50.80	50.80	50.80	50.80	50.80	50.80	50.80



6.環境経営計画及び取組みとその評価・次年度の取組み

評価実施日：令和06年07月31日

具体的な活動		活動期間：令和05年07月～令和06年06月	
		取組判定	評価と次年度の取組み
本社	【省エネ】		
	エアコンのフィルター清掃を年2回実施（5月 11月）	○	エアコンのフィルター清掃は使用シーズン前に随時行っている。年に数回エアコンの消し忘れがあり、まずは注意喚起表示を施し、「消し忘れゼロ」を目指す。
	ブラインドを利用し、熱の出入りを調整	○	
	退社時のエアコンの電源OFF	○	
	【省資源】		車両管理担当者の配置により、整備・点検は滞りなく行われている。月に一度車両内点検を実施しており、不要物の積載は減ってきたが、点検者を増員し、更なる強化を図る。
	急発進・急加速・急ブレーキの禁止	△	
	車両整備の励行（随時）	○	
	不要物の積載はしない	○	
	【節水】		「資機材を洗って倉庫に返却」を社内ルールとしたため、水場の節水表示を強化する。
	節水シール・ポスターによる周知	○	
	水の出しっぱなしをしない	○	
	【グリーン購入】		資機材は、ソーラー式のものを選び、環境に配慮した資機材のリストアップに力を入れ、推進を広げる。
	グリーン商品の推進（環境に配慮した商品の利用）	○	
現場	【省エネ】		熱中症対策のため、夏場のエアコン使用は必須だが、現場事務所設置時、室内温度を1℃でも下がるよう熱がこもらない工夫が必要である。
	不在時と昼休みの消灯	○	
	エアコンの運転管理	○	
	【省資源】		車両管理担当者の配置により、整備・点検は滞りなく行われている。月に一度車両内点検を実施しており、不要物の積載は減ってきたが、点検者を増員し、更なる強化を図る。
	重機・車両のアイドリングストップ	○	
	急発進・急加速・急ブレーキの禁止	○	
	不要物の積載はしない	○	
	車両整備の励行（随時）	○	
	【産業廃棄物】		マニフェスト伝票の記入については、勉強会を実施し、社内パトロール時に確認している。違法行為がないよう取組みは継続していく。
	マニフェスト伝票・産廃契約書の管理	○	
	リサイクル・再生資源化の推進	○	
	【工事における環境配慮】		来期より、初回会議時にこの取組みを一つ以上目標に掲げ、社員一丸となり、協力し合って達成させる。
	環境に配慮した施工	○	
	【地域の環境貢献】		現場毎に計画を立て、協力し、目標達成。今後もこの取組みは全社員知恵を出し合って継続していく。
	年5回以上のボランティア活動の実施	○	

※評価基準：「達成できた」→○ 「ほぼ達成できた」→△ 「達成できていない」→×

【総評】

前期に引続き、甚大な被害をもたらした「令和2年豪雨災害」の、復興・復旧に尽力した1年であった。災害が起きると、復旧するために工事車両が動き、二酸化炭素排出量が増えて、「地球温暖化」に大きく影響し、また、災害が起きる…。この繰り返し「毎年」あるいは「短期間」に発生しないよう、些細なことから一人一人が「環境問題」に真摯に向き合い、「エコアクション21」の活動継続と更なるステップアップを計画し、来期は各項目の目標達成を目指す。

7.環境に配慮した施工の主な活動内容

◆◆◆ 油脂類流出防止対策(吸着マット)の常備について ◆◆◆

弊社は河川工事が多く、河川内で建設機械を使用するに当たり緊急時に備えて、現場に「吸ちゃん」(オイル吸着マット)を常備しました。機械の日々の始業前点検を確実にすることにより、故障もなく油漏れ等も発生しませんでした。



◆◆◆ 現場打構造物から二次製品の利用 ◆◆◆

生コンクリートを使用することにより資機材の影響によるCo2削減を目的としてコンクリート二次製品を利用した。工期も短縮でき、さらなるCo2削減に貢献できた。



◆◆◆ 粉じん対策における道路清掃 ◆◆◆

現場出入り口の粉塵防止対策として、アルマジロ(搭乗式掃除機)及び散水車にて道路清掃を行った。結果、周辺の緑化に埃がつくことなく、また、地域の方々からの苦情もなかった。



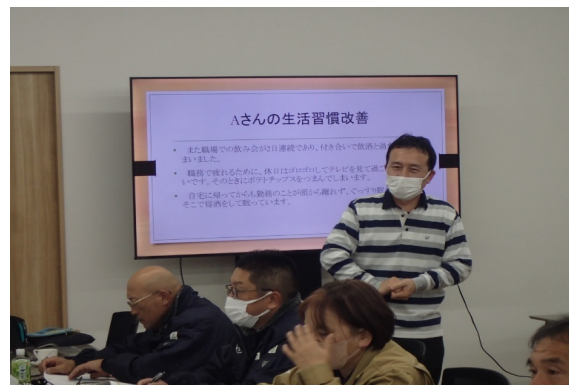
◆◆◆ 安全衛生におけるおける工夫 ◆◆◆

弊社では、現場環境に配慮した女性専用仮設トイレを設置。ダンプトラックが毎日運行する現場であり、ダンプトラックを運転する女性も多く従事され、働きやすい職場となった。



◆◆◆ 弊社産業医によるセミナー聴講について ◆◆◆

昨今注目されている「生活習慣病」についてのセミナーを聴講しました。全ての働く人が健やかに、生き生きと働きことが出来るように健康確保を図り、働く人とその家族の幸せを確保することが大事だと。生活習慣病を予防することでストレスへの気づきのノウハウを身につけたり、早期発見・対処できれば、悪化を防止することが出来ると、話されました。今後、仕事をする上で聴講したことを実践し職場でも活かしたいです。



◆◆◆ エネルギー利用の効率化 ◆◆◆

道路幅が狭く離合箇所がない状態で、信号機の使用が不可欠となり、発動発電機を使用せず、ソーラパネルを使用した信号機を使用することで、自然エネルギーを効率よく使用した結果、Co2削減も達成していた。



ソーラー付き信号機

8.主な取組み内容

◆◆◆ 三和ビジョンによる働き方改革への取組について ◆◆◆

①目的

・2024年4月から建設業の労働時間の上限規制が適用されるにあたり、社長より示された三和ビジョン(写真①)を全社員で取組むことで、働くことへの意識改革を図ることを目的とします。

②内容(対策等)

・社員別の時間外労働及び有給休暇取得状況を公表し、数字の見える化を行っています。
・毎月の安全衛生パトロール時に、点検者によるタイムカードのチェックを行っています。(写真②)
・現場の業務開始時間を8時からとしています。

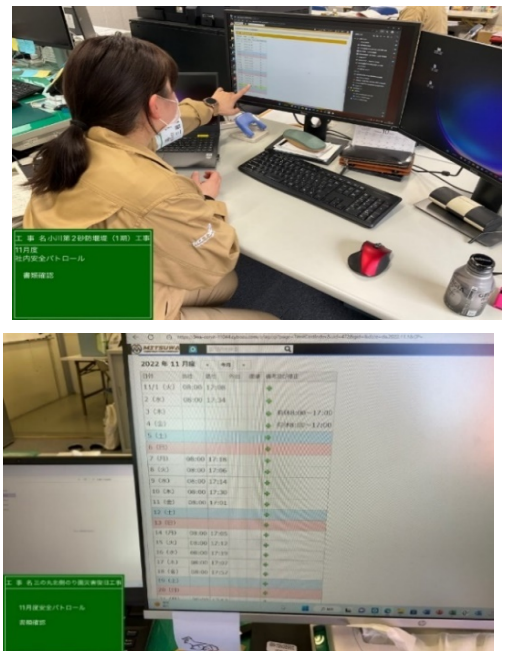
③結果

・家族との時間が増えたり、趣味を楽しんだりする時間を確保することが出来、自分の時間を最大限に有効に使っています。(写真③)

写真①



写真②



写真③



◆◆◆ 「三方良し」の理念に基づいた取組み ◆◆◆

①目的

・社長より示された三和ビジョン第2弾 (写真①) によりオレンジリボン運動 (児童虐待防止運動) を全社で取組むことで、広く地域住民の方に周知することを目的とします。

②内容 (対策等)

・のぼり旗の設置 (写真②) や社用車へマグネット (写真③) を貼り付け周知しました。
・毎月1回配布する工事だよりに掲載し、地域住民の方に周知しました。
(写真④⑤)

③結果

・オレンジリボン活動を展開し、まだまだではありますが地域住民の方に周知することが出来たかとは思いますが、今後も未来ある子供たちのために継続して取り組んでいきます。

写真①



三和のビジョンである「地域に貢献する会社」の実現に動き出します。

恵まれない子どもたちを支援したい



昔から、私の目標の1つに、少々おこがましいかもしれませんが、恵まれない子どもたちを救いたい、というものでありました。昨年度より、オレンジリボン運動を開始し、昨年度は、県内3ヶ所の児童養護施設へ寄付させていただきました。これも、全て、三和社長の皆さまの頑張りのおかげです。今、県内では、800人ほど、事情で親と暮らせない子どもたちがいます。県内には3ヶ所 (八代：乳児園・児童施設 水俣：児童施設) があります。これから、継続して支援を続けていきます。

三和建設は、子ども達の未来に貢献していきます。

写真②



写真③



写真④

オレンジリボン運動

写真⑤



9.環境関連法規への遵守状況及び違反・訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

実施日 令和06年06月28日

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管分別・排出 マニフェスト伝票の管理・交付状況報告提出	適正
労働安全衛生法	石綿等の除去作業	適正
再生资源利用省令	再生资源利用計画書・実施書の作成 再生资源利用促進計画書・実施書の作成	適正
指定副産物利用促進省令	再生资源利用計画書・実施書の作成 再生资源利用促進計画書・実施書の作成	適正
建設リサイクル法	発注者への計画等説明書と完了報告書 下請負者への告知書	該当なし
建設廃棄物適正処理マニュアル	マニフェストの基づく適正処理の実施	適正
建設副産物適正 処理推進要綱	再生资源利用計画書・実施書の作成 再生资源利用促進計画書・実施書の作成	適正
建設汚泥の再生利用に関する ガイドライン等	建設汚泥の処理に当たりの基本方針 具体的実施手順・建設汚泥の再生利用の促進	該当なし
オフロード法	協力会社の持ち込み建設機械等の適合証明	適正
フロン排出抑制法	定期点検の実施 冷媒用フロンの回収・破壊の措置	適正
建築基準法	石綿含有建材の使用禁止	適正
騒音規制法	対象特定建設作業・特定施設の 届出・規制値の遵守	適正
振動規制法	対象特定建設作業・特定施設の 届出・規制値の遵守	該当なし
河川法	一日に50m ³ 以上の汚水を河川に排水	該当なし
六価クロム溶出試験実施要領	地盤改良における六価クロム溶出試験の実施	適正
消防法	少量危険物保管の貯蔵・取扱の基準	適正
学校環境衛生の基準	学校の工事におけるVOC（揮発性有機化合物） の測定	該当なし
作業所で同意するその他の要求事項	時間外作業の事前連絡・資材搬出入時の粉塵の発生 防止とアイドリングストップの実行	適正
建設業の環境自主行動計画 第5版	環境経営の充実に向けた活動の展開 施工段階におけるCO ₂ の排出抑制 建設廃棄物・建設発生土の対策	適正

※ 適用される法規制等と遵守状況は、「環境関連法規等の遵守状況チェックリスト」に基づき記載しております。

10.代表者による全体の評価と見直し

昨年度から、委員会を軸にPDCAを回してくれていると認識しています。

現場数と環境に関する指標には因果関係ありますが
それに負けず、社員一人ひとりの心構えを維持してほしいと指示しました。

特に本社の指標は、心構え一つで変わるはずです。

評価実施日 令和6年7月1日

三和建設株式会社

代表取締役社長 佐藤 圭

環境経営方針の見直し

変更の必要性

☐ 有

☒ 無

環境経営目標及び環境経営計画の見直し

変更の必要性

☐ 有

☒ 無

実施体制の見直し

変更の必要性

☐ 有

☒ 無